

[Int. Archs Allergy appl. Immun. 56, 264 (1978)]

**Antigen-, Anti-F(ab')₂-and Anti IgE-induced histamine release
from rat mast cells**

HIROICHI NAGAI, K. KELLY* A. H. SEHON*

抗原, 抗 F(ab')₂ および抗 IgE 抗体によるラット肥満細胞からの histamine 遊離

永井博式, K. Kelly*, A. H. Sehon*

DNP-As 抗原で免疫されたラットの腹腔肥満細胞上に IgE 分子の存在することを蛍光抗体法および抗 IgE 抗体による histamine 遊離で証明した。肥満細胞上の IgE 抗体を抗原, Fab および Fc に対する抗体により cross-linking させると, Ca⁺⁺ の存在に cyclic nucleotide の modulation および energy requiring process などの一連の細胞内反応を含む histamine 遊離をひき起こす。この抗原, Fab および抗 IgE 抗体による histamine 遊離は細胞内の生化学的機構には大きな差はないものと思われるが, 抗原あるいは F(ab')₂ による cross-linking の方が Fc の cross linking より強い histamine 遊離をひき起こす。

* Manitoba 大学 (カナダ)